

2011年3月11日

鹿野道彦 農林水産大臣へ

## 提案書

松蔭高校 Blue Earth Project 一同

1. 食の問題を環境の面からも考えてもらうよう呼びかけてもらえますでしょうか。  
環境に関しては関心を持っておられる方も多いので、食料自給率に加えて、水・温暖化・生物といった面からも米や地元食材の大切さを PR していければと、私たちは活動を通して痛感しました。
2. お米や米粉の普及啓発するために
  - A) Rice Action キャンペーンを全国展開できないでしょうか。  
全国の多くのレストランに協力して頂き、おコメ中心のメニューを PR し、多くの人にお米の良さを味わっていただける日を設定いただけないでしょうか。
  - B) 米啓発につながる言葉(キャッチフレーズ)を公募し、広められないでしょうか?  
未来につながるあなたの一口や、エコ食頂きますは大変好評でした。他にも、オシャレ ECO、ECO 男子、エコ美人など。
  - C) 『お米ちゃん』のようなアイキャッチツールを多くの店に配布普及できないでしょうか。  
若者もごはんに親しめるようなキャラクターを希望店舗に配布等はできないでしょうか。
  - D) 成人の日に米に関するものをプレゼント(お米割引券など)  
都会の若者に対しても米への関心を持ってもらうために。
  - E) エコ食材にエコポイント  
環境と食のつながりから食を考えてもらうためと、実際に減農薬農家の方のお話を聞いて。
  - F) 国会の食堂に米粉を投入
  - G) 小麦粉にはしっかり関税を
3. 農業に親しんでももらうために
  - A) 農業体験の機会をもっと増やしてもらえないでしょうか。(ビルの屋上で農体験等、年齢性別場所を問わず)  
私たちが実際に水田を訪ねて、米の大切さへの意識が変わりました。
  - B) 半官半民での農業の推進

#### 4. 私たちにぜひともさせていただきたいこと

##### A) マジごはん計画の普及啓発活動

多くの人に、明るくおしゃれに身近に食問題を考え実践して頂こうという私たちの活動趣旨と重なる部分もあり、食開発、店舗様への協力啓発、イベント啓発等、私たちの今年の活動実績を生かして、ぜひこの活動を私たちに広めさせていただけないでしょうか。

##### B) イベントのお手伝い

私たちは、イベント活動をすることで、店ぐるみ、町ぐるみで 1000 人近くの街の人や多くのメディアを通して啓発してきました。このノウハウや人脈を生かして、上記のマジごはん計画普及をはじめ、その他、農林水産省様の食に関する啓発活動でイベントのお手伝いをさせていただけないでしょうか。特に、若い世代に共感を得ていただくことが可能です。

##### C) 食育セミナーの実施

次代を担う子供たちにとって、年齢が近く、かつ、食に関して活動をしたものとして、子供たちの心に響くことを話すことが出来ます。そこで、食の問題や啓発につながるような学習会を、各地の小中高校生に行うための機会提供等の支援をいただけないでしょうか。

なにとぞ、私たちの活動を踏まえての、若い世代からの提案をお聞きいただければ幸いです。どうかよろしく願いいたします。